



中野区立緑野中学校 学校便り

探求・創造・共生

令和 3年12月20日(月) 発行 第8号

12月の人権週間に思う

校長 齊藤 久

12月3日(金)から9日(木)まで人権週間でした。21世紀は人権の世紀と言われて
います。人類は20世紀には2度にわたり世界大戦を経験し、多くの尊い命を奪い、悲劇と
破壊をもたらせた反省から、世界の人々の間に平和と人権尊重を求める動きが高まりました。
昭和23年12月、国際連合は、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ
尊厳と権利について平等である」と世界人権宣言を採択しました。

東京都では2020年のオリンピック・パラリンピック開催に向け、15年ぶりに「東京
都人権施策推進方針」を見直し、国際都市にふさわしい人権が保障された都市を目指して人
権施策の推進に取り組んでいます。

学校における人権課題は大きく2つあります。

1つは「いじめ」問題です。いじめは子供の教育を受け
る権利を侵害し、その心身の健全な成長と人格形成に
深刻な影響を与え、時には生命や身体に重大な危険を生
じさせることもあり決して許されるものではありません。
緑野中では11月にふれあい(いじめ調査)アンケート
を実施しました。アンケートによれば、緊急に対応する
事案はありませんでしたが、悪口を言われる、無視をされる、SNSの問題行動などが残念な
がらありました。望ましい人間関係を確立させるためにご家庭と連携して指導を進めています。



落ち葉掃きボランティア

次の人権課題は教職員による生徒への「体罰」です。体罰は明治時代において、すでに法
によって禁止事項になっていました。しかし厳しい指導という名目で、昭和の時代までは日
常的に学校の中で行われてきた悲しい歴史があります。体罰は生徒に屈辱感を与え、心を深
く傷つける人権侵害です。緑野中では、生徒の尊厳を大切にしながら、温かくも心に訴える
厳しい指導を行い、いけないものはいけないと良くない行動は反省させながら、生徒の成長
を促しています。

近年、グローバル化を見据えた人権が新しい課題です。今年の夏には東京2020オリン
ピックパラリンピックで感動をさせていただきました。特にパラリンピアン活躍が強く印
象に残りました。年が明けると冬のスポーツの祭典が北京で開催されます。コロナ禍の五輪
開催となりますが、どのような感動が待っているのか今から楽しみにしています。

12月の人権週間にあたり、緑野中で学ぶ皆さんには、人種、肌の色、性別、宗教、言語
等の違いがあっても、お互いの文化や歴史、価値観を尊重して、仲良く協力し合える、世界
で通用する国際人になってほしいと願っています。

ペップトーク講演会（全校生徒対象）

12月11日（土）ペップトーク講演会を実施しました

ペップトークとは

アメリカでスポーツの試合の前に監督やコーチが選手を励ますために行っている短い激励のスピーチです。「PEP」は英語で、元気・活気・活力という意味があります。スポーツ現場はもちろん、家庭で、職場で、教育現場で実践できるシンプルでポジティブな言葉を使ったコミュニケーションです。（一般財団法人 日本ペップトーク普及協会HPより転載）



生徒の感想（第三学年の事後作文から）

- 「未来は自分の言葉から」を頭に入れて、これからはポジティブな発言と共に自分の希望を叶えるために、自分の希望をどんどん口に出していきたいと思いました。
- 3年生の12月という進路について考え、ネガティブになる時期にペップトークの講演会を聞くことができ、考え方や捉え方をネガティブではなく、ポジティブに考えようと思うことができ、今後は前を向いて何でもプラスに考え、行動していこうと思います。
- これからは自分のイメージを定期的に確認したり、見直したりしていくことでもっと理想に近づいていけるようにしていきたいと思った。
- これから受験を控えています、自分に自信をもち、三三七拍子の「できる できる 絶対できる」と心の中で何度も唱えて乗り越えていきたいです。
- 最近の口癖が「もう嫌だ」「面倒くさい」になってきたのですが、今日の講演会を聞いてモチベーションが下がる理由は、自分が自分に掛けているネガティブなのだと気づきました。これからは、受験生らしく新たなスタートを切れるように自分の言葉に気をつけながら、「自分の事をコントロールするのは自分の言葉」なのだと言う事を忘れずに日々を過ごしていきます。
- 今日の講演会を聞いて、自分を励まし応援することの大切さを改めて実感しました。また、頑張ろうという気持ちになりました。自分が思うのはもちろん、周りの人たちもそう思えるように、ペップトークをかけてあげられたら良いと思いました。
- 受験は団体戦なので、仲間にもペップトークを用いて鼓舞し合えるような集団にしていきたいです。
- 受験に追い込まれてマイナスなことばかり考えてしまうこともこれからたくさんあると思うので、自分を元気づけて、自分も友達も明るい気持ちで受験ができるようにしたいと思います。
- 自分を他人と比べて、溜め息をつくことも多々ありました。ですが、今回の講演を聞いて前向きな気持ちになれたと思います。友達を勇気づけるためにも、まずは自分を励ましていこうと思います。

生徒会主催 いじめ防止標語

11月の中野区が取り組んでいる「ふれあい月間（いじめ防止月間）」でした。この取組を受けて生徒会執行部では全校生徒を対象に「いじめ防止標語」を募りました。優秀な作品を紹介します。

校長賞	3D	「立ち上がれ あの子を守る その一歩」
副校長賞	2D	「やめようよ この一言を 言う勇気」
生徒会長賞	3B	「考えろ 自分の言動 行動を」
生徒会副会長賞	1B	「見ていたね 伝えないんだ 先生に」
生徒会副会長賞	2C	「もうやめて！ 聞いてあげてよ その声を」
生徒会執行部賞	1A	「その一言で 変わってしまう 相手の心」
生徒会執行部賞	1B	「楽しいの？ 楽しくないよね じゃあやめよう」
生徒会執行部賞	1D	「一人じゃない 相談する みんながいる」
生徒会執行部賞	2B	「なにげない 言葉も時には 傷つける」
生徒会執行部賞	3A	「遠巻きに 見ている貴方も 共犯者」
生徒会執行部賞	3C	「この瞬間 あなたが止めなきゃ 繰り返す」

生徒会意見交流会

11月27日（土）生徒会執行部が中野区立中学校の生徒会役員が参加する「生徒会意見交流会（リモート形式）」に参加しました。

執行部役員は次の分科会に分かれ参加しました。

第1分科会「生徒会長の役割と課題」

第2分科会「生徒会の取組の現状と課題」

第3分科会「学校生活の課題と生徒会の関わり」

第4分科会「生徒全員でつくる生徒会活動」

各分科会では活発に意見交流をすることができました。

生徒会役員という共通の立場で異なる学校、異なる学年の生徒と討議を行う貴重な経験となりました。意見交流を通して他校の実践から学ぶ貴重な機会となりました。

熱心に活動を行っている生徒会執行部の活動がより洗練されていくことを期待しています。



生徒会企画 玉入れ

旧生徒会執行部の企画ですが、コロナ禍の影響で実施できていませんでした。感染状況が一段落したのを受けて11月末に学年別クラス対抗「玉入れ」を実施しました。

優勝クラス

第一学年 C組

第二学年 C組

第三学年 C組



前期生徒会 会長

以前から考案していた企画でしたが、コロナ禍でなかなか開催出来なかったので、今回、無事に開催することができて良かったです。

皆さんが、スムーズに動いてくれたり、話をよく聞いてくれたお陰で、進行もスムーズに進み、とても助かりました。ありがとうございました。

落ち葉掃き ボランティア

12月6日(月) 8日(水) 10日(金)の3日間に7:30~8:10の時間でグラウンドと周辺の清掃活動を行いました。

美化委員会が企画して生徒朝礼でボランティアを募りました。当日は生徒会執行部役員をはじめ多くの生徒が活動に参加しました。



「みらいステップなかの」開設のお知らせ

11月29日に、教育センター、子ども・若者支援センター及び図書館等を複合併設する「みらいステップなかの」が開設されました。

中野区立教育センターの連絡先

所在地 中野区中央1-41-2

教育相談室	申込窓口	平日	10時~18時
			03-5973-3074
	電話相談	平日	10時~17時
			03-5937-3083

教育支援室	平日	9時~17時
		03-5937-3044

